

新国立問題 深まる混迷

国が新国立競技場の建設費の一部を都に求めた問題で、舛添知事と下村博文文科相の「言い争い」の着地点が一向に見えてこない。五輪組織委員会の森喜朗会長が舛添知事の態度に苦言を呈すなど、ますます泥仕合の様相を見せている。一方、新国立競技場の建設費が現行案の1625億円から2500億円程度に膨らむとの報道も流れる中、建築家の榎文彦氏が、新国立競技場の設計の見直し案を日本スポーツ振興センター(JSC)に提案。下村大臣も「耳を傾けていく」と発言するなど、新国立競技場を巡る動向に注目が集まる。

建設費2500億円に膨らむ

「都がやりたいと言っ
たんでしょ。東京都が場
所を全部用意するのは当
たり前のことで、知事が
『俺は知らん』と言っ
ておかしな話」
新国立競技場の建設費
500億円の負担を「聞
いたことが無い」と批判
する舛添知事に対し、五
輪組織委員会の森会長は
3日に都内で開かれた講
演会で苦言を呈した。

森会長は「(舛添知事
と)2週間に1回は昼食
を食べていて、いろん
な話をしたので、『もう聞
いていないというのはや
めなさい』と言って過去
の経緯を全部話した」と
語った。

森会長によると、新国
立競技場の整備費は、非
公式ながら都が3分の1
程度を負担する話になっ
ていたと伝えたという。

事象の収束に向け、都と
文部科学省がしっかりと
話し合うよう求めた。
これに対し、舛添知事
は5日の定例記者会見
で、「知らないとは言っ
ていない」と反論。「メ
インスタジアムが無けれ
ば開催できないので、私
が心配してどうなってい
るか」と情報開示を求めて
いる。何も間違っていな
い」と不満を口にした。

その上で「下村大臣と
猪瀬前知事の間で500
億円の話がまとまってい
る」という話を森氏が言っ
ていたことは記憶にある
が、公文書や議事録が残
っていない。そういうも
のに拘束された形で仕事
する必要はない」と話し、
引き続き下村大臣に整備
費用の詳しい情報を求め
る姿勢は崩さなかった。

費用負担を巡る論争が
混迷を深める中、5日に
は新国立競技場の建設費
が現行計画の1625億
円から2500億円程度
に大幅に膨らむ見通しで
あることが一部報道で明
らかになった。

新国立競技場の本体部
分を建設する大成建設
と、屋根部分を建設する
竹中工務店が現行案を基
に積算した結果、3千億
円超となり、観客席の一
部仮設化や開閉式屋根の
えを示した。

下村大臣は5日の記者
会見で、「金額など途中
経過を申し上げる段階で
はない」と説明した上で、
世界的にも前例がなく、
実験を繰り返して承認さ
れるべき構造」と述べ、
代替案は「西武ドームを
えたい」と話している。



握手する舛添、森、下村の3氏。試合前日のボ
クサー会見のような雰囲気も2日、虎ノ門で

一方、「場外」では新
競技場の建設見直しを求
める声が強まっている。
4日には新国立競技場
の建設に反対していた市
民団体が舛添知事に対
し、現行案を白紙に戻し、
場合によっては駒沢オリ
ンピック公園総合運動場
など既存のスタジアムを
改修してメドスタジア
ムとすることなどを求め
る質問状を提出。
また、建築家の榎文彦
氏や大野秀敏氏らのグル
ープは、コスト増加や工
期の長期化の問題は2本
の柱で屋根を支える「キ
ールアーチ構造」に原因
があるとして、観客席に
のみ屋根を設置する代替
案を示した。5日に事務
所にて記者会見を開いた榎
氏は、「キールアーチ構
造はコストがかかる上、
経費節減や工期短縮に向
かないが、(コストや工期
など)より負担のかわら
ない施策があれば、出来
るだけ聞く耳を持って考
えたい」と話している。